

風光る市街地を駆ける

第44回登別こいのぼりマラソン

5月12日(日)、市営陸上競技場を発着地点として、幌別地区を駆け抜ける『第44回登別こいのぼりマラソン』(同実行委員会主催)が開催されました。

天候に恵まれ、穏やかな春の日差しが降り注ぐなかでの開催となった今年。市内外を問わず、遠くは神奈川県から総勢約1千100人のランナーが集結しました。

スタート前の開会式では、合田和彦実行委員長から「日頃の練習の成果を発揮し、けがのないように最後まで頑張ってください」と鼓舞されたランナーたち。

まずスタートを切ったのは、オープン種目として行われた400m幼児。出場した子どもや保護者たちが、笑顔でコースを駆け抜けました。

その後、3km(小学生部門・親子部門)、5km(10kmが順次スタート。ランナーたちは、沿道に集まった観客からの声援に応えながら、健脚を競いました。

3km小学生部門に出場した、幌別小学校の立中康太郎さんは、「少し暑くて疲れたけど、ゴールでできた」と笑顔で語ってくれました。



▲号砲とともに走り出すランナーたち



▲青空のもと、ゴールを目指して走るランナーたち

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
・フェイスブック
・二次元バーコード



詐欺被害を防ぐ

消費者月間街頭啓発

5月14日(火)、登別青嶺高等学校と北海道登別明日中等教育学校で、5月の消費者月間に合わせた『街頭啓発』(登別消費者協会主催)が行われ、登別消費者協会会員が生徒約1千人に、悪質商法や詐欺への注意を促すリーフレットを配布しました。

5月25日(土)には、市内の大型スーパーにおいても実施した同事業。振り込め詐欺などの『特殊詐欺』をはじめ、さまざまな契約をめぐるトラブルなどは、市内でも多く発生しています。おかしいなと思ったら、一人で悩まず、同協会(☎83307)や登別市消費生活センター(☎33491)にすぐに相談してください。



▲登校してきた生徒に啓発リーフレットを配布する登別消費者協会会員



▲多くの桜で、行き交う人々を楽しませる桜のトンネル(中登別町)
▲桜を見ながら、ゴールを目指す参加者たち



登別の春を味わおう

2019登別桜ざか一期一宴

5月12日(日)、JR登別駅からカント・レラまでを歩く『2019登別桜ざか一期一宴』(同実行委員会主催)が開催されました。

参加した約30人は、沿道で咲き誇る満開の桜に足を止めるなど、それぞれのペースで片道約8kmの道のりを踏破。春の日差しを浴びながら、車では感じることでできない登別の魅力を感じていました。

ウォーキングのあとには、参加者全員にエビ汁が振る舞われたほか、登別温泉の日帰り入浴券が配られ、登別のさまざまな春を満喫していました。